

町に対し提言しました

佐藤 正 議員

※ 議会全員協議会において議会の総意として町に報告を求める。

● 真室川町土地開発公社に関する件

以前から議会で質問され早急に解散する旨の報告がされていたが、進んでいないため提言された

《回答》

● 公社の事業については、すでに公社が所有する土地を町に売却及び借入金の償還が完了したことから実質的に終了としております。

平成24年3月定例会に土地開発公社解散の議案を提出する様事務処理を進めております。

先進地に学ぶ

県内先進地視察研修



庄内町議会議長の説明

議会改革調査特別委員会

(庄内町) 10月18日

「議会基本条例」を制定し、「議会活性化」や「住民に開かれた議会」に取り組むなど、議会改革において先進地である庄内町の視察研修を行いました。今後の当町議会の活性化に努めていきます。

県外先進地視察研修



金ヶ崎町議会広報委員との意見交換



大和町議会広報委員との意見交換

議会広報調査特別委員会

(岩手県・金ヶ崎町) (宮城県・大和町)

10月19日～20日

町民の皆さまに、より見やすい「議会だより」をお届けするため、町村議会広報全国コンクールで優秀な成績を収めている先進地への研修を行いました。この研修で学んだ編集技術を活かし、より分かりやすく議会の内容をお伝えしていきます。

安楽城地区統合後2校の跡地利用に介護施設への転用の考えは

町長——管内市町村での老人ホーム等新設の動きもあり施設介護需要量が満たされる見込みである



議員

安楽城地区小学校

統合後の2校（平枝小・差首鍋小）の跡地利用に介護施設への転用の考えは、

町長 安楽城地区3小学校の統合にあたり、あさひ小学校開校記念式典を4月8日に行う。

廃校となる平枝小学校と差首鍋小学校の跡地利用として、当面は住民の健康体力づくりと地域文化及びコミュニティの育成を目的に体育館とグラウンドを地域に開放する考えである。一方、学校施設を含めた町有施設の利活用と機能強化等を推進するため、庁内に「公共施設利活用検討会」を設置し有効活用と適正管理に向け協議を行い、地域住

民の健康体力づくりと地域文化及びコミュニティの育成を目的に体育館とグラウンドを地域に開放する考えである。一方、学校施設を含めた町有施設の利活用と機能強化等を推進するため、庁内に「公共施設利活用検討会」を設置し有効活用と適正管理に向け協議を行い、地域住



閉校となる差首鍋小学校・平枝小学校

民の健康体力づくりと地域文化及びコミュニティの育成を目的に体育館とグラウンドを地域に開放する考えである。一方、学校施設を含めた町有施設の利活用と機能強化等を推進するため、庁内に「公共施設利活用検討会」を設置し有効活用と適正管理に向け協議を行い、地域住



開するかを今後注視していく。「太陽光発電の普及促進」については、8月に役場庁舎壁面に太陽光発電を設置した。太陽光発電装置の補助制度では現在1件の設置があり、補助を継続。さらに普及促進を進めていく。

「小水力発電の開発利用と調査の考えがないか」について、

昨年度に小水力発電の概況調査を行った。全ての調査地区が通年的な通水対策が重要課題である。河川法、水利権等の許可関係の調整が必要だが、小水力発電の可能性は期



冬期間も発電可能な太陽光発電パネル

待できる。東北公益文科大学の古山隆准教授より12月5日に来町頂き、小水力発電のエネルギー事情と現地を調査、ご指導を頂いている。